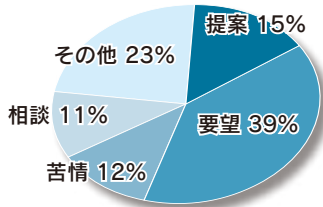


平成 19 年度市政提案箱 ～市長への手紙～

平成 19 年度中に市民のみなさんから「市政提案箱」へ寄せられた意見・提案などは455件でした。たくさんのご意見・ご提案をありがとうございました。

提案の分類



提案内容の分類

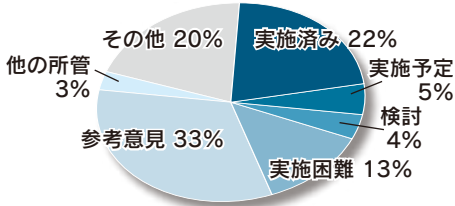
順位	テーマ	件数
1	ごみ関係	47件
2	保育園	15件
3	環境政策	10件
3	図書館	10件
5	道路維持管理	9件

提案を実現しました

- 鉄道公園の環境整備
- プラスチックごみ用のごみ袋を厚く
- 各種窓口で「受付済票」を発行
- 本庁舎トイレの環境改善



検討結果



ご意見をお待ちしています

- これからも、市政に関するご提案をお寄せください。
- 切手不要の専用封筒と用紙を、市役所、各総合支所、各地区公民館など市関連施設、郵便局（簡易郵便局・出張所を除く）に設置しています。ご自由にお使いください。
 - 市ホームページに、送信用フォームを設置しています。

問い合わせ先 市役所本庁舎市民総合相談課 ☎(0857)20-3158・FAX(0857)20-3053・電子メール shiminsoudan@city.tottori.tottori.jp

TOTTORI MUNICIPAL ART EXHIBITION 2008

第47回

市展

■問い合わせ先
市役所本庁舎文化芸術推進課
☎(0857)20-3226

第47回鳥取市民美術展覧会を6月29日から7月6日まで鳥取県立博物館で開催しました。今年は、日本画やデザインなどの8部門で407点の出品がありました。市展賞20点、協賛賞7点が決まりましたので、以下の通り紹介します（敬称略）。

- 《日本画》市展賞 かわなかあけみ 河中明美、かわはたよしこ 川端芳子、ふるたけいこ 古田啓子
鳥取市議会議長賞 なかはらのぶこ 中原信子
- 《書道》市展賞 きのしたみさえ 木下美佐恵、さいだとしこ 財田俊子、たけだようえん 武田葉苑
もりたさいすい 森田彩翠、やまねりょうかい 山根亮海
- 鳥取商工会議所会頭賞 もりもととみこ 森本富子
- 《工芸》市展賞 さかもとあきら 坂本章、たにくちえみこ 谷口恵美子、ながすなまさえ 長砂政恵
鳥取民藝美術館長賞 さとうまさこ 佐藤昌子
- 《洋画》市展賞 きたむらたつこ 北村辰彦、てらたにしのぶ 寺谷忍、ひがしものぼる 東本登
もりもとまさえ 森本正枝
- 遠藤 董 先生顕彰会長賞 やまもとさとし 山本知司
- 《写真》市展賞 おおいそゆき 大磯憂姫、しまだみゆき 嶋田美雪、なんぼただし 南波正
まえたしげを 前田重雄
- 鳥取市文化団体協議会長賞 よしざわこうたろう 吉澤幸太郎
- 《版画》市展賞 おおにしだけひろ 大西武寛
- 鳥取市教育福祉振興会理事長賞 なかしまきみえ 中嶋君枝
- 《デザイン》鳥取ユネスコ協会会長賞 たにがみくみこ 谷上公弥子

鳥取市出身 バレーボール日本代表 やまもとたかひろ

山本隆弘選手を応援しよう！



鳥取市出身で、現在パナソニック パンサーズに所属している山本隆弘選手が、北京オリンピック男子バレーボールの日本代表に選ばれました。郷土の星、山本選手を応援しましょう！

問い合わせ先 市役所第2庁舎体育課
☎(0857)20-3371



～核兵器のない 平和な世界を～

【原爆犠牲者の慰霊と平和祈念の黙とうを！】

昭和20年8月6日には広島市に、9日には長崎市に原爆が投下されてから63年目を迎えます。

8月6日、9日は、原爆犠牲者のご冥福と平和を祈って、正午から1分間の黙とうを行います。それぞれの家庭、職場や地域でも黙とうをお願いします。

【非核平和展】

とき 7月26日（土）～8月10日（日）
※中央図書館休館日7月29日（火）、31日（木）、8月5日（火）は休み

ところ 中央図書館ギャラリー（市役所駅南庁舎2階）
内容 原爆写真パネル、折鶴など

問い合わせ先 市役所本庁舎総務課 ☎(0857)20-3102

あなたのまちの隣保館



識字教室には赤ちゃんも一緒に参加

本市内に11館ある隣保館では、「人権と福祉のまちづくり」をめざして、相談事業・啓発活動・地域交流事業などの各種事業を行っています。

また、さまざまな問題を抱えている家庭の訪問相談や、ひとり暮らしの高齢者の安否確認など、だれもが安心して、安全に暮らすことができるように、地域福祉の向上にも取り組んでいます。

その中から、今回は、特色のある取り組みとして、下味野隣保館の「識字教室」を紹介します。

日本語を習いたい

下味野隣保館では、「外国から嫁いできた人の識字教室」を、毎週月曜日と火曜日に午前10時から正午まで開催しています。

きっかけは、隣保館への相談でした。地域には、フィリピンから来て、日本で結婚して生活している女性が5人います。「保育園・小学校から持って帰るお便りが読めなくて困っているの、字を習いたい」とのこと。

そこで、鳥取大学交流センターの御館久里恵さんにご協力いただき、学習教材を提供して

交流の輪が広がって

ただくとともに、職員も日本語習得の学習内容や指導方法の研修を重ねました。

2006（平成18）年4月から、まずは毎週1回の午後の時間帯でスタートしました。講師は地域のボランティアをお願いし、ひらがな↓カタカナ↓漢字↓文法という順番で、教材を利用しながら学習を進めています。

最近、同じように悩んでいる他地域のフィリピンやベトナムの出身者も参加するようになり、ネットワークの輪が広がりました。

「早く字を覚えたい。毎日でも学習したい」との声もあり、教室の回数を増やしました。指導の中で日本語のニュアンスをうまく伝えられない時は、学習が進んでいる人が自国の言葉で通訳してあげるなど、みなさんが助け合いながら学習しています。

また、「日本料理も教えてほしい」との要望から、年2回「料理教室」を開催し、それぞれの国の食文化の違いも学習し、交



参加者から日本語で感想を寄せていただきました。

流しています。

識字教室は、日本語を習得するだけの場ではなく、子育ての悩みや日常生活の悩みなどを仲間同士で話し合い、職員に相談できる場にもなっています。

関係機関との連携を

参加者の中には、仕事や家庭の事情で毎回参加できない人もいます。

隣保館までは公共交通の利便性が悪いため、佐治地域、用瀬地域などに住む参加者は家族が送迎するのですが、子どもの帰宅時間帯と重なってしまい、なかなか参加できないということもありました。

そこで、1人でも多くの人が参加できるように、今年の6月から教室を午前の時間帯に変更しています。

「日本で結婚して子育てをしながら生活をしていくには、識字は絶対必要です。託児など安心して識字教室に参加できるような環境づくりを関係部署・機関などと連携を図りながら広げたい」と担当する職員は話します。

あなたのまちの隣保館でもさまざまな事業をしています。気軽に利用してみたいかがでしょうか。

識字教室の問い合わせ先

鳥取市立下味野隣保館
(0857) 53・1542